

平成30年度 科目ナンバリング分類表（学部と言語教育科目および大学院の専攻共通科目[言語教育科目系]）

大分類 LA 言語教育科目					大分類 LA 専攻共通科目の言語教育科目系					大分類 LA 専攻共通科目の言語教育科目系					
学士課程 4年					修士課程 2年					博士課程 3年					
3					3					3					
中分類名称コード	小分類名称コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 英語	1. インターアクション重視	Interactive English A【1】	Interactive English B【1】							Presentation Strategies【2】	Presentation Strategies【2】				
	2. インプット重視		Academic English【2】							Academic Reading【2】	Academic Reading【2】				学術英語研究【1】
	3. 外部試験対応	Career English Basic【2】	Career English Basic【2】	Career English Intermediate【2】	Career English Intermediate【2】					TOEIC受験集中対策【2】	TOEIC受験集中対策【2】				
	4. 実践・応用			Active English CLIL【1】	Active English CLIL【1】						Content and Language Integrated Learning I【1】				
2. ドイツ語		ドイツ語初級基礎A【4】	ドイツ語初級基礎B【4】	ドイツ語中級A【4】	ドイツ語中級B【4】										
		ドイツ語初級演習A【4】	ドイツ語初級演習B【4】	ドイツ語上級A【4】	ドイツ語上級B【4】										
3. フランス語		フランス語初級基礎A【4】	フランス語初級基礎B【4】	フランス語中級A【4】	フランス語中級B【4】										
		フランス語初級演習A【4】	フランス語初級演習B【4】	フランス語上級A【4】	フランス語上級B【4】										
4. 中国語		中国語初級基礎A【4】	中国語初級基礎B【4】	中国語中級A【4】	中国語中級B【4】										
		中国語初級演習A【4】	中国語初級演習B【4】												
9. 日本語		日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】	日本語Ⅰ【2】	日本語Ⅱ【2】							日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】	日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】
		日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】	日本語Ⅲ【2】	日本語Ⅳ【2】							日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】	日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】
		日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】	日本語Ⅴ【2】	日本語Ⅵ【2】							日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】
		日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語Ⅶ【2】	日本語Ⅷ【2】							日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】
		日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】									日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】
		日本語コミュニケーションⅪ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】									日本語コミュニケーションⅪ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】	日本語コミュニケーションⅪ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】
		日本語Ⅰ【2】	日本語Ⅱ【2】									日本語初級Ⅰ【2】	日本語初級Ⅱ【2】	日本語初級Ⅰ【2】	日本語初級Ⅱ【2】

- 留意事項 1. 学部の日本語コミュニケーションⅠ～Ⅹについては、補習科目である。
2. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

※【】中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

- 0: 日本語で行う授業
1: 英語で行う授業
2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3: 英語以外の外国語で行う授業
4: その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

平成30年度 科目ナンバリング分類表 (学部の人間教養科目および大学院の専攻共通科目)

		大分類 Ⅱ 人間教養科目				大分類 Ⅲ 専攻共通科目の人文系・高等教養セミナー、自然科学、KIT大学院科目など			大分類 Ⅳ 専攻共通科目		
		学士課程 4年				修士課程 2年			博士課程 3年		
		3				3			3		
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000			
1. 工学科学教養科目	1. 工学科学入門	工芸科学基礎 [0]	KITスタンダード [0]								
		キャリア教育基礎 [0]	学習・キャリア戦略論 [0]								
	2. 科学技術と環境・倫理	国際理解[0]									
		人権教育 [0]									
		地球環境論 [0]	環境と法 [0]	環境マネジメント [0]							
		環境問題と持続可能な社会 [0]	情報セキュリティと情報倫理 [0]								
	3. ものづくりと技術戦略	生命倫理と環境倫理[0]	テクノロジー論[0]								
		現代科学と倫理[0]	環境論[0]								
		ものづくりと生命物質科学 [0]	ものづくりと生命物質科学 [0]	産学連携ものづくり実践 [0]							
		ものづくりと設計工学 [0]	ものづくりと設計工学 [0]								
4. リーダーシップと経営戦略	ものづくりとデザイン科学 [0]	ものづくりとデザイン科学 [0]									
	伝統産業概論Ⅰ [0]	ものづくり加工実習 [0]									
	実践ユニバーサルデザイン [0]	伝統産業概論Ⅱ [0]									
	リーダーシップ基礎Ⅰ-地域連携プロジェクト [0]	リーダーシップ基礎Ⅱ [0]	国際連携プロジェクト[0]	ベンチャー企業経営学[0]							
5. 京の伝統文化と先端	知的財産経営論[0]										
	リーダーシップ実践Ⅰ [0]										
	リーダーシップ実践Ⅱ [0]										
	京のサステナブルデザイン [0]	京の意匠 [0]	京の伝統工芸一技と美 [0]	京のまち [0]							
	文化財学 [0]	京の和菓 伝統産業の先進的ものづくり [0]	京の伝統工芸一知と美 [2]	英語で京都 [0]							
	京の文化行政 [0]	宗教と文化 [0]									
	京の産業技術史 [0]										
	京の生活文化史 [0]	京都の農林業 [0]									
	京都の文学Ⅰ [0]	京の生活文化史 [0]									
	京都の歴史Ⅰ [0]	京都の文学Ⅱ [0]									
現代京都論 [0]	京都の歴史Ⅱ [0]										
京都の自然と森林 [0]	京都の経済[0]										
近代京都と三大学 [0]	京都の防災と府民[0]										
	京都学-歴史館ゼミ(リベラルアーツ・ゼミナール)										
	京都学-歴史館ゼミ(リベラルアーツ・ゼミナール)										
2. 基本教養科目	1. 社会科学の基礎	人文地理学Ⅰ [0]	人文地理学Ⅱ [0]								
		社会学Ⅰ [0]	社会学Ⅱ [0]								
	2. 人間と社会	法学 [0]	政治学 [0]								
		経済学 [0]	経済学入門 [0]								
		国際政治 [0]	憲法 [0]								
		心理学 [0]	生活と経済 [0]								
	3. 人間と歴史	現代教育論 [0]	現代社会と心 [0]								
		現代社会とジェンダー [0]	現代社会と心 [0]								
		発達心理学 [0]	医史学 [0]								
		食環境をめぐる国際社会と日本[0]									
4. 文化・芸術	日本史 [0]	東西文化交流史 [0]									
	アジアの歴史と文化 [0]	歴史学 [0]									
		ヨーロッパの歴史と文化[0]									
	美と芸術 [0]	哲学 [0]	舞台芸術論 [0]								
5. 自然科学の基礎	比較宗教学 [0]	宗教と文化 [0]									
	西洋文学論 [0]	西洋文化論 [0]									
	日本文学Ⅰ [0]	日本近現代文学 [0]									
	日本近代精神史[0]	ラテン語 [0]									
6. 人間と自然・科学	フランス語圏の文化とジャポニスム[0]	文芸創作論 [0]									
	映画で学ぶ英語と文化[0]	日本文学Ⅱ [0]									
	映画で学ぶドイツ語と文化[0]	映画で学ぶドイツ語と文化[0]									
	物理学Ⅰ [0]	化学概論Ⅰ [0]									
7. リベラルアーツ・ゼミナール	エネルギー科学 [0]	生物學概論Ⅱ [0]									
	化学概論Ⅰ [0]	地球の科学 [0]									
	生物学概論Ⅰ [0]	医学概論[0]									
	生命科学講話 [0]										
3. 体の科学	人と自然と数学α [0]	人と自然と数学β [0]	時間生物学特論 [0]								
	食と健康の科学 [0]	人と自然と物理学 [0]									
	生物学的人間学 [0]	科学史 [0]									
		意外と知らない植物の世界 [0]									
3. 体の科学	現代社会に学ぶ開うか・書く力(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]	社会科学の学び方(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]									
	レーザーで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]	世界はいま(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]									
	現代社会と映画製作(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]	製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]									
	感性の実践哲学(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]	科学と思想(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]									
3. 体の科学	現代イスラーム世界の文化と社会(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]	経営哲学(リベラルアーツ・ゼミナール) [0]									
	スポーツ科学Ⅰ [0]	スポーツ科学Ⅱ [0]	生体行動科学 [0]	健康体力科学 [0]	(生体機能論)	(運動機能学)	(卒業研究(応生))				
3. 体の科学	キャンパスヘルス概論 [0]		生涯スポーツ [0]	生涯スポーツ[0]	(スポーツバイオメカニクス)		生体行動科学特論 [2]	バイオメカニクス特論 [2]		応用運動生理学 [2]	

留意事項1. 修士課程の専攻共通科目である「高等教養セミナー」については、H27年度シラバスにおいて人文・社会・自然分野に分類できるもののみ掲載した。(掲載していないものは、高等教養セミナー-1, 2, 6, 7, 8, 5科目。)
 2. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。
 3. 括弧書きの科目は他課程専門科目あるいは専門基礎科目であり、それぞれAB(応用生物学課程専門科目の大部分コード)またはSB(専門基礎科目の大部分コード)から始まるナンバリングのいずれかが適用される。

※【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成30年度 科目ナンバリング分類表 (学部の学域専門基礎科目および大学院の専攻共通科目[数学系、繊維系])

大分類 SB 専門導入科目・学域専門基礎科目

学士課程 4年

大分類 SB 専攻共通科目の数学系・自然科学系・インターンシップ系・KIT大学院科目

修士課程 2年

大分類 SB 専攻共通科目

博士課程 3年

中分類名称 コード	小分類名称 コード	3				3		3			
		1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000			
1. 数学	1. 代数学		線形代数学Ⅰ【0】	線形代数学Ⅱ【0】			数理応用代数【0】	代数学セミナー【0】	数理応用代数【0】		
	2. 幾何学				応用幾何【0】		数理応用幾何【0】	幾何学セミナー【2】	数理応用幾何【0】		
	3. 解析学		基礎解析Ⅰ【0】 解析学Ⅰ【0】	基礎解析Ⅱ【0】 解析学Ⅱ【0】	応用解析【0】 応用数理【0】	数理解析【0】		数理応用解析【0】	解析学セミナー【0】	数理応用解析【0】	
	4. 統計数学			統計数理【0】				数理応用統計【0】	確率論セミナー【2】	数理応用統計【0】	
	5. 分野横断型科目		数学演習Ⅰ【0】	数学演習Ⅱ【0】			数理応用演習【0】	数理応用演習【0】 数理科学特論Ⅰ【0】 数理科学特論Ⅱ【0】 数理科学特論Ⅲ【0】		数理解析学【2】 応用解析学【2】	
2. 物理学	1. 力学		物理学Ⅰ【0】 物理学Ⅰ演習【0】	力学【0】							
	2. 電磁気学			物理学Ⅱ【0】 物理学Ⅱ演習【0】							
	3. 統計熱力学				統計熱力学【0】						
	4. 量子力学				量子力学【0】						
	5. 実験・実習		物理学実験法及び基礎実験【0】	物理学実験法及び基礎実験【0】							
3. 化学			物理学基礎実験【0】	物理学基礎実験【0】							
			化学Ⅰ【0】 物理化学Ⅰ【0】 無機化学Ⅰ【0】 有機化学Ⅰ【0】 化学基礎実験【0】 物理化学演習【0】	化学Ⅱ【0】 物理化学Ⅱ【0】 有機化学Ⅱ【0】 化学基礎実験【0】 分析化学【0】 物理化学Ⅲ【0】 高分子化学【0】	環境化学【0】 化学工学Ⅰ【0】				環境化学特論【2】		
			生物学Ⅰ【0】 生物化学Ⅰ【0】 生物学基礎実験A【0】	生物学Ⅱ【0】 生物化学Ⅱ【0】 資源生物と環境【0】							
			情報リテラシー概論【0】	情報処理演習【0】	学術国際情報【0】						
					繊維プロセス工学【0】 クロウジングサイエンス【0】 繊維科学実験【0】 複合材料ものづくり実験【0】 サステナブルマテリアル【0】 染色科学【0】	繊維ナノ構造学【0】 繊維生産流通システム概論【0】 繊維科学概論【0】 複合材料科学【0】 先端複合材料学【0】 複合材料基礎実験【0】			繊維系合同研修【0】	繊維系資格概論【0】 アカデミックインターンシップⅠ(国内)【0】 アカデミックインターンシップⅡ(国内)【0】 アカデミックインターンシップ(海外)【0】 繊維・ファイバー工学特論Ⅰ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅱ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅲ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅳ【1】	
7. 知的財産		アントレプレナーシップ概論【0】 知的財産概論Ⅰ【0】 特許法・実用新案法Ⅰ【0】 民法概論Ⅰ【0】	知的財産概論Ⅱ【0】 特許法・実用新案法Ⅱ【0】 民法概論Ⅱ【0】	知的財産演習【0】							
0. その他		絵画実習【0】	新先端ファイブ科学【0】 図学【0】	インターンシップA【0】 インターンシップB【0】 地学Ⅰ【0】 地学Ⅱ【0】 地学実験【0】 生体機能論【0】 スポーツバイオメカニクス【0】				インターンシップⅠ【0】 インターンシップⅡ【0】 グローバルインターンシップⅠ【1】 グローバルインターンシップⅡ【1】 HDMIインターンシップ【1】 グローバルイノベーションプログラムⅡ【2】 国際協働プロジェクト【2】	グローバルイノベーションプログラムⅠ【2】	視知覚理論【2】 HDMIインターンシップアドバンス【1】	

留意事項 1. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。
 2. 網掛けを付した科目については、大学院と学部同時に開講しているもの。
 3. すべての課程・専攻に配当されている科目についてまとめたものであるため、所属する課程・専攻によって履修できない科目もある。
 履修可能かどうかは、教科課程表の履修区分を参照のこと。

※【 】中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成30年度 科目ナンバリング分類表 (応用生物学課程, 応用生物学専攻, バイオテクノロジー専攻分)

大分類 AB 応用生物学課程

大分類 AB 応用生物学専攻

大分類 BT バイオテクノロジー専攻

学士課程 4年			修士課程 2年			博士課程 3年		
3			3			3		

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000				2000				3000				4000				5000		6000		7000			
1. 応用生物学 実験/実習	1. 演習	専門導入ゼミ【0】		(情報処理演習 md)		(学術国際情報 mf)		基礎研究・演習【0】		卒業研究【0】						特別研究【2】		研究指導【2】				バイオテクノロジー特別演習 I【0】			
		地域課題導入セミナー【0】				地域創生課題セミナー II【0】		地域創生課題セミナー I【0】		卒業プロジェクト【0】						応用生物学特別実験及び演習 I【0】		バイオテクノロジー特別演習 II【0】							
						ものづくりインターンシップ II【0】		ものづくりインターンシップ I【0】								応用生物学特別実験及び演習 II【0】									
																国際インターンシップ【2】		バイオテクノロジーインターンシップ I【0】							
																国際インターンシップ I【0】		バイオテクノロジーインターンシップ II【0】							
	2. 実験/実習			自然観察学【0】		生物機能学・分子生物学実験【0】		生物機能学・分子生物学実験【0】												国際科学技術特別演習 I【2】		国際科学技術特別演習 II【2】			
				生物生産学実習【0】																					
				(生物学基礎実験A)																国際科学技術特別実験及び演習 I【2】		国際科学技術特別実験及び演習 II【2】			
				(化学基礎実験 me)																国際科学技術特別実験及び演習 III【2】		国際科学技術特別実験及び演習 IV【2】			
																				遺伝資源実習及び演習【0】		昆虫バイオメディカル特別実験及び演習【0】			
2. 応用生物学 専門コア科目	1. 生物学/機能系			細胞生物学【0】		動物生理学【0】		植物生理学【0】																	
				微生物学【0】		遺伝学【0】		昆虫生理学【0】																	
	2. 生化学/分子系			生物統計学【0】																					
				生物化学 I【0】		生物化学 II【0】		昆虫工学【0】																	
3. 応用生物学 専門アドバンス科目	1. 生物学/機能系			資源昆虫生産学実験実習【0】		生物基礎英語演習【2】		脳の生理学【0】		運動機能学【0】				バイオテクノロジー概論 I【0】		細胞機能学特論【2】		資源昆虫学特論【2】		昆虫バイオメディカル【2】		ゲノム・エピゲノム制御学【2】			
						昆虫機能開発学【0】										生体機能学特論【2】		昆虫生理機能学特論【2】		生命分子構造機能学【2】		生体機能制御学【2】			
						植物機能開発学【0】		細胞組織学【0】		植物生理生態学【0】						進化ゲノム学特論【2】		資源植物学特論【2】				植物生態学【2】			
								バイオインフォマティクス演習【0】										バイオメディカル学特論【2】							
										発生生物学【0】															
	2. 生化学/分子系							細胞工学【0】		放射線生物学【0】						バイオテクノロジー概論 II【0】		生体分子機能学特論【2】							
								微生物工学【0】		植物機能科学【0】		モデル生物学【0】						構造生物学特論【2】		染色体工学特論【2】					
																		微生物工学特論【2】		植物分子工学特論【2】					
																				昆虫工学特論【2】					
																				疾患モデル昆虫学特論【0】		応用昆虫ウイルス学特論【0】			
(参考) 学域共通 専門基礎科目	生命物質化学域 共通科目			(生物学I ma)		(生物学II ma/mb)		(地学実験)																	
				(化学I mc)		(化学II mc)		(インターンシップA)																	
				(物理学 I)		(分析化学 ma)		(インターンシップB)																	
				(基礎解析I md)		(物理学 II)																			
				(線形代数学I mc)		(基礎解析II md)																			
						(線形代数学II mc)		(資源生物と環境)																	
				(有機化学I md)		(有機化学II md)																			
				(無機化学 I)		(物理化学II md)																			
				(物理化学I md)		(解析学II)																			
				(物理学基礎実験)		(物理学基礎実験)																			

- 留意事項 1. 括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用される。
 2. 下線を付した科目については他課程教員が担当しているものである。
 3. 網掛けの科目については大学院の特別教育プログラム科目である。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

0:日本語で行う授業
1:英語で行う授業
2:受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
3:英語以外の外国語で行う授業
4:その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成30年度 科目ナンバリング分類表 (応用化学課程, 物質合成化学専攻, 機能性物質化学, 材料創製化学専攻, 材料制御化学専攻分, 物質・材料化学専攻)

大分類 AP 応用化学課程

大分類 IM 材料創製化学, MC 材料制御化学専攻, MS 物質合成化学専攻, FC 機能性物質化学専攻

大分類 MC 物質・材料化学専攻

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

3

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 実習系	1. 実験			応用化学実験Ⅰ【0】 ものづくりインターシブⅡ【0】	応用化学実験Ⅱ【0】 ものづくりインターシブⅠ【0】	卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】		物質・材料化学特別演習Ⅰ【0】 物質・材料化学特別演習Ⅱ【0】 物質・材料化学インターシブⅠ【0】 物質・材料化学インターシブⅡ【0】 研究指導【2】 国際科学技術特別演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】	
	2. 実験基礎								
	3. セミナー	地域課題導入セミナー【0】	応用化学序論Ⅰ【0】	応用化学序論Ⅱ【0】	地域創生課題セミナーⅡ【0】 コースゼミ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】			
2. 物理系	1. 物性基礎			統計物理学【0】 振動・波動【0】	シミュレーション物理学【0】			光エネルギー物質科学【2】	
3. 物理化学系	1. 熱力学・反応速度			固体熱力学【0】				制御分子構造学【2】	
	2. 量子物理化学				分子量子化学【0】			電子機能高分子創成学【2】 光機能高分子創成学【2】	
4. 無機・分析化学系	1. 無機化学・固体化学		無機化学Ⅱ【0】 無機化学演習【0】	固体物性論【0】				ナノ構造物質学【2】	
	2. 無機材料化学			金属材料学【0】 無機材料化学Ⅰ【0】	材料工学特論【0】 無機材料化学Ⅱ【0】			ナノ物質加工学【2】	
	3. 分析化学		応用分析化学【0】	有機機器分析【0】 材料機器分析概論【0】				分離機能材料学【2】	
5. 有機化学系	1. 有機反応化学		有機化学演習【0】	有機化学Ⅲ【0】	精密合成化学【0】 有機反応化学【0】 有機化学Ⅳ【0】			立体機能物質化学【2】 精密物質合成学【2】	
	2. 有機材料化学				有機材料設計【0】 精密材料化学【0】			精密重合高分子【2】	
6. 高分子材料系	1. 高分子合成			高分子材料化学【0】				ソフトマテリアル創成学【2】	
	2. 高分子構造			高分子レオロジー【0】 高分子構造学【0】				繊維性高分子材料組織学【2】	
	3. 高分子物性		高分子物性【0】	液晶・高分子物性【0】 ナノ材料物理化学【0】 高分子分子物性【0】				高分子形態制御学【2】 高分子機能物性学【2】	
7. 生体・環境化学系	1. 生体関連化学		生化学Ⅰ【0】	生化学Ⅱ【0】 機能分子科学Ⅰ【0】 生体分子工学【0】	生化学Ⅲ【0】 機能分子科学Ⅱ【0】			生体分子機能化学【2】 生体分子機構解析学【2】	
	2. 天然物質・繊維系			ファイバーサイエンス【0】				生体分子設計学【2】	
	3. 環境・化学工学			化学工学Ⅱ【0】	生物化学工学【0】 技術者倫理【0】 環境と高分子【0】			環境物質化学【2】	

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成30年度 科目ナンバリング分類表（電子システム工学課程, 電子システム工学専攻）

大分類 EL 電子システム工学課程

大分類 EL 電子システム工学専攻

大分類 EL 電子システム工学専攻

		学士課程 4年				修士課程 2年		博士課程 3年	
		3				3		3	
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 総合科目	1. 実験・実習・セミナー	電子システム工学セミナーⅠ【0】 電子システム工学セミナーⅡ【0】 地域課題導入セミナー【0】	電子システム工学セミナーⅢ【0】	電子システム工学基礎実験【0】	電子システム工学実験及び設計Ⅰ【0】 地域創生課題セミナーⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】	電子システム工学実験及び設計Ⅱ【0】 地域創生課題セミナーⅠ【0】 ものづくりインターンシップⅠ【0】			グローバルインターンシップⅢ【2】 グローバルインターンシップⅣ【2】 電子システム工学インターンシップⅢ【0】 電子システム工学インターンシップⅣ【0】 電子システム工学特別演習Ⅰ【0】 電子システム工学特別演習Ⅱ【0】 イノベーションプロジェクト【2】
	2. 講義							特別課題実験及び演習Ⅰ【0】 特別課題実験及び演習Ⅱ【0】 電子システム工学インターンシップⅠ【0】 電子システム工学インターンシップⅡ【0】 電子システム工学特別実験及び演習Ⅰ【0】 電子システム工学特別実験及び演習Ⅱ【0】 国際インターンシップ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】	
	3. 研究					卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】		特別研究【2】	国際科学技術特別演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】 研究指導【2】
2. 材料物性・デバイス	1. 材料物性		電子物性基礎論【0】	電子材料工学【0】			電子物性特論A【2】 ナノ構造工学【2】 統計物理学【2】	電子物性特論B【2】 ナノ構造科学【2】 知能性材料システム工学【2】 電子系・電子凝縮系の物理【2】	電子物性論【2】 ナノ構造論【2】 光材料工学【2】 電子材料論【2】
	2. デバイス			電子デバイス【0】 センサ工学【0】	集積化プロセス・デバイス工学【0】		マイクロデバイス工学【2】 光電子デバイス工学【2】 電子デバイス特論【2】 エネルギー変換デバイス【2】	電子デバイス論【2】 パワー半導体デバイス論【2】 機能性薄膜応用デバイス工学【2】	
3. 電磁気エネルギー	1. 数学		電子システム数理基礎論【0】						
	2. 電磁気・電磁波		電磁気学および演習ⅠA【0】 電磁気学および演習ⅠB【0】	電磁気学および演習ⅡA【0】 電磁気学および演習ⅡB【0】	電磁気学Ⅲ【0】 電磁波工学【0】		電磁波工学特論A【2】 電磁波工学特論B【2】		電磁機能構造設計理論【2】
	3. 光エレクトロニクス		光学基礎【0】	フォトニクスⅠ【0】 フォトニクスⅡ【0】			光波工学【2】	情報光学【2】	集積フォトニクス【2】
	4. エネルギー				プラズマ工学【0】 電気エネルギー工学【0】		プラズマ解析学【2】	プラズマ物性工学【2】 プラズマ制御論【2】 電磁エネルギー科学【2】	プラズマ計測技術【2】 通信信号処理【2】
4. 通信・制御	1. 信号処理・通信		デジタル信号処理【0】		通信システム工学【0】		通信工学特論【2】	情報伝送論【2】	
	2. 制御			制御工学【0】 システム最適化【0】					
5. 回路	1. 電気回路		電気回路【0】 電気回路演習【0】	回路解析【0】 回路解析演習【0】	高周波回路【0】				
	2. 電子回路		論理設計【0】	デジタル電子回路【0】	アナログ電子回路【0】 電子回路演習【0】	集積回路工学【0】	集積回路工学特論【2】	集積システム工学【2】	
6. 情報	1. 計算機・ネットワーク				情報ネットワーク【0】 コンピュータシステム【0】			エネルギーインターネット設計論【2】	
	2. プログラミング		プログラミング演習Ⅰ【0】 プログラミング演習Ⅱ【0】			計算モデル論【0】			

※【 】中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

平成30年度 科目ナンバリング分類表 (情報工学課程, 情報工学専攻, 設計工学専攻)

大分類 IS 情報工学課程

大分類 IS 情報工学専攻

大分類 ED 設計工学専攻

学士課程 4年	修士課程 2年	博士課程 3年
3	3	3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 情報工学基礎・実習	1. プロジェクト実習・実験	情報工学セミナー【0】		プロジェクト実習Ⅰ【0】	プロジェクト実習Ⅱ【0】	プロジェクト実習Ⅲ【0】	卒業研究【0】	設計工学特別演習Ⅰ【0】	
		地域課題導入セミナー【0】			地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】	卒業プロジェクト【0】	設計工学特別演習Ⅱ【0】	
					ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】		研究指導【2】	
								特別研究【0】	
								特別課題実験及び演習Ⅰ【0】	
								特別課題実験及び演習Ⅱ【0】	
	2. プログラミング・アルゴリズム	情報工学概論【0】		プログラミングⅡ【0】	プログラミングⅠ【0】	システム最適化【0】		特別課題実験及び演習Ⅲ【0】	
				ソフトウェア演習Ⅱ【0】	データ構造とアルゴリズム【0】			特別課題実験及び演習Ⅳ【0】	
					ソフトウェア演習Ⅰ【0】			情報工学インターンシップⅠ【0】	
					情報システムプログラミング【0】	ネットワークプログラミング【0】	言語処理プログラミング【0】	情報工学インターンシップⅡ【0】	
					離散数学【0】			国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】	
								国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】	
2. ハードウェア	1. 電気・電子回路						国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】		
	2. コンピューターアーキテクチャ		論理設計【0】	コンピュータシステム【0】			国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】		
3. ソフトウェア	1. ソフトウェア開発		ソフトウェア工学【0】	組み込みシステム設計論【0】			国際インターンシップ【2】		
	2. ソフトウェア基礎				オペレーティングシステム【0】		グローバルイノベーションプログラムⅡ【2】		
					コンパイラ【0】	プログラミング言語論【0】		グローバルイノベーションプログラムⅠ【2】	
	3. メディアインタラクション				データベース【0】			システム設計特論【2】	
					ヒューマンインタフェース【0】				
					知能工学【0】	メディア工学【0】			
4. 通信・システム	1. 情報・ネットワーク		情報理論【0】	情報セキュリティ【0】	情報ネットワーク【0】				
	2. システム・制御								
					システム論【0】	制御工学【0】			
	3. 信号処理			デジタル信号処理【0】		画像工学【0】	パターン認識【0】		

留意事項・括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用される。

※【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成30年度 科目ナンバリング分類表（機械工学課程，機械物理学専攻，機械設計学専攻，設計工学専攻分）

大分類 ME 機械工学課程

大分類 MP 機械物理学専攻, MD 機械設計学専攻

大分類 ED 設計工学専攻

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

×

3

×

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 研究系	1. 研究系	地域課題導入セミナー【0】		地域創生課題セミナーⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】 ものづくりインターンシップⅠ【0】	卒業研究【0】 卒業論文【0】 卒業プロジェクト【0】	プロジェクトマネジメント(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅰ(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅱ(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅲ(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅳ(MP)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅰ(MD)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅱ(MD)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅲ(MD)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅳ(MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅰ(MP,MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅱ(MP,MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅲ(MP,MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅳ(MP,MD)【0】 特別研究(MP,MD)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】 国際インターンシップ【2】	設計工学特別演習Ⅰ【0】 設計工学特別演習Ⅱ【0】 研究指導【2】 国際科学技術特別演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】	
		2. 機械工学リテラシー	エンジニアのためのリテラシー【0】				Technical Writing & Communication(MP)【2】 Technical Writing & Communication(MD)【2】		
2. 機械設計・実験・シミュレーション系	1. 実験系			機械工学実験Ⅰ【0】	機械工学実験Ⅱ【0】	機械物理学基礎演習Ⅰ(MP)【2】 機械物理学基礎演習Ⅱ(MP)【2】 機械物理学基礎演習Ⅲ(MP)【2】 機械物理学基礎演習Ⅳ(MP)【2】 機械設計学基礎演習Ⅰ(MD)【2】 機械設計学基礎演習Ⅱ(MD)【2】 機械設計学基礎演習Ⅲ(MD)【2】 機械設計学基礎演習Ⅳ(MD)【2】	機械物理学インターンシップⅠ(MP)【0】 機械物理学インターンシップⅡ(MP)【0】 機械設計学インターンシップⅠ(MD)【0】 機械設計学インターンシップⅡ(MD)【0】	設計工学インターンシップⅠ【0】 設計工学インターンシップⅡ【0】	
	2. 設計・製図		機械製図法Ⅰ【0】 機械設計学【0】	機械製図法Ⅱ【0】 機械設計学【0】	応用機械設計【0】 創造設計製図演習【0】				
	3. 工業力学		工業力学Ⅰ【0】	工業力学Ⅱ【0】			機械システム安全工学(MD)【2】 運動装置設計論(MD)【2】 機械安全設計論(MD)【2】 ストラテジックデザイン論(MD)【0】		
	4. 計算力学			コンピュータシミュレーション基礎学【0】 ソフトウェア演習【0】	計算力学【0】		工業解析力学(MP)【2】 計算物理学(MP)【2】 計算流体力学(MP)【2】		
3. 熱・流体力学	1. 流体力学		流体力学Ⅱ及び演習【0】	流体力学Ⅰ及び演習【0】	流体力学Ⅲ【0】	気体分子運動論(MP)【2】 流体エネルギー変換論(MP)【2】 流体工学特論(MP)【2】		計算流体論【2】	
	2. 熱力学		熱力学Ⅰ及び演習【0】	熱力学Ⅱ及び演習【0】	熱エネルギー輸送現象【0】 熱力学Ⅲ【0】	熱エネルギー変換工学(MP)【2】 熱伝達論(MP)【2】 反応性熱流体力学(MP)【2】 輸送現象制御(MP)【2】		エネルギーシステム論【2】	
4. 材料・加工学	1. 材料力学		材料力学Ⅱ及び演習【0】	材料力学Ⅰ及び演習【0】	機械構造解析学【0】 材料力学Ⅲ【0】	理論応力解析学(MP)【2】 数値固体力学(MP)【2】		要素強度評価学【2】	
	2. 工業材料学		工業材料学【0】		材料強度学【0】 塑性力学【0】	先端工業材料学(MD)【2】		機械材料強度論【2】	
	3. 加工学		機械加工法及び実習【0】	材料加工プロセス【0】	切削・研削加工学【0】 塑性加工学【0】 特殊加工学【0】	成形限界設計論(MD)【2】 先端材料加工学(MD)【2】 応用機械加工学(MD)【2】		機械材料加工論【2】	
5. 計測・制御工学	1. 機械力学		機械力学Ⅰ及び演習【0】	機械力学Ⅱ及び演習【0】	防振システム工学【0】 機械力学Ⅲ【0】	機械力学特論(MP)【2】 知的構造システム学(MD)【2】		振動力学【2】	
	2. 計測工学			計測基礎学【0】	工業計測法【0】	光・画像計測論(MD)【2】		エネルギーシステム論(重複)【2】	
	3. 制御工学			システム制御理論【0】	ロボティクス【0】 最適制御システム【0】 計画工学【0】	ロボット制御論(MD)【2】 確率応用システム論(MD)【2】 生産システム論(MD)【2】 最適化理論(MD)【2】		システム制御論【2】	

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成30年度 科目ナンバリング分類表 (バイオベースマテリアル学専攻)

大分類 なし

大分類 BM バイオベースマテリアル学専攻

大分類 BM バイオベースマテリアル学専攻

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

x

3

x

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 実習	1. スタートアップ											スタートアップセミナー【2】	スタートアップセミナー【2】		
	2. セミナー											バイオベースマテリアル学国際セミナー【1】	バイオベースマテリアル学セミナー【0】		
	3. インターンシップ											産学連携セミナー【0】			
	4. 実験・演習											バイオベースマテリアル学インターンシップ I【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ II【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ III【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ IV【0】
												国際インターンシップ【1】			
												バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 I【0】	バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 II【0】	バイオベースマテリアル学特別演習 I【0】	
												バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 III【0】	バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 IV【0】	バイオベースマテリアル学特別演習 II【0】	
												特別研究【2】		研究指導【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習 I【2】	国際科学技術特別実験及び演習 II【2】	国際科学技術特別実験及び演習 I【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習 III【2】	国際科学技術特別実験及び演習 IV【2】	国際科学技術特別実験及び演習 II【2】	
2. バイオベースマテリアル 化学	1. 高分子化学										バイオベースポリマー【2】				バイオベースマテリアル化学【2】
	2. 立体化学										生体分子立体化学【2】				
	3. 医用材料										バイオメディカル化学【2】				
	4. 色彩科学										バイオカラーサイエンス【2】				
3. バイオベースマテリアル 材料学	1. 多糖系材料										バイオ機能材料【2】				材料機能制御学【2】
	2. ナノ構造									ナノ材料構造【2】	ナノ材料物性【2】				材料機能構造相関【2】
	3. ナノ繊維形成									バイオナノファイバー【2】					ケモバイオロジー【2】
										テキスタイルサイエンス I【2】					ナノファイバーテクノロジー【2】
4. バイオベースマテリアル 生物工学	1. バイオリファイナ リー									生物資源システム工学-【2】	環境資源科学【2】				
	2. 動物系機能物質												タンパク質機能構造【0】		応用タンパク質工学【2】
	3. 植物系機能物質											植物機能工学【0】			

留意事項1. 【 】中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)
2. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成30年度 科目ナンバリング分類表（教職関係科目分）

大分類 TP 教職関係科目
学士課程 4年
4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000	
1. 教職の意義等		現代教師論【0】	
2. 教育の基礎理論	1. 教育の理念・歴史・思想	教育原論【0】	
	2. 生徒の心身の発達と学習の過程	教育心理学【0】	
	3. 教育に関する社会・制度及び経営的事項	教育社会学【0】	
3. 教育課程及び指導法	1. 教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論【0】	
	2. 各教科の指導法	数学教育法ⅠA【0】	数学教育法ⅠB【0】
		数学教育法ⅡA【0】	数学教育法ⅡB【0】
		理科教育法ⅠA【0】	理科教育法ⅠB【0】
		理科教育法Ⅱ【0】	
		情報教育法Ⅰ【0】	情報教育法Ⅱ【0】
	工業教育法【0】		
3. 道徳の指導法	道徳教育の理論と実践【0】		
4. 特別活動の指導法	特別活動論【0】		
5. 教育の方法及び技術	教育方法論【0】		
	視聴覚教育概説【0】		
4. 生徒指導・教育相談・進路指導等	1. 生徒指導の理論・方法	生徒指導【0】	
	2. 教育相談・進路指導の理論・方法	教育相談・進路指導論【0】	
5. 演習・実習	1. 演習	教育実践演習(中・高)【0】	
	2. 実習	教育実習Ⅰ【0】	
		教育実習Ⅱ【0】	
6. 教科に関する科目(工業)	1. 職業指導	職業指導Ⅰ【0】	職業指導Ⅱ【0】

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

0:日本語で行う授業
1:英語で行う授業
2:受講者に応じて日本語または英語で行う授業 (状況に応じて使用言語を変更する)
3:英語以外の外国語で行う授業
4:その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成30年度 科目ナンバリング分類表（学芸員資格科目分）

大分類 CU 学芸員資格科目
学士課程 4年
4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000	
1. 学芸員資格に必要な科目	1. 生涯学習及び社会教育の意義・特性等	生涯学習概論【0】	
	2. 博物館に関する基礎	(博物館概論)	
	3. 博物館の管理・経営	博物館学Ⅰ【0】	
	4. 博物館の資料	(文化財学)	
	5. 博物館資料の保存	文化財保存科学【0】	
			博物館学Ⅱ【0】
	6. 博物館の展示機能		
7. 博物館教育の理論・実践と方法	教育学概論【0】		
		博物館教育論【0】	
8. 博物館の情報の提供・活用等		博物館情報・メディア論【0】	
9. 博物館の実習	博物館実習【0】		
2. その他		(デザインマネジメント)	
		(京の産業技術史)	

留意事項・括弧書きの科目は人間教養科目または課程専門科目であり、元の大分類から始まるナンバリングが適用される。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

0:日本語で行う授業
1:英語で行う授業
2:受講者に応じて日本語または英語で行う授業 (状況に応じて使用言語を変更する)
3:英語以外の外国語で行う授業
4:その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)